

ぱっそ あ ぱっそ

10号



passo a passo (イタリア語で一步一步の意味) 未来に向かって

発行：水戸ファミリー・サポート・センター
〒319-0393 水戸市内原町 1395-1 水戸市内原支所 3階

Tel 029-303-7277 Fax 029-303-7288

<http://www.310-famisupo.or.jp>

平成21年5月29日発行

水戸ファミリー・サポート・センターはこの6月で5周年を迎えます。会員の皆さまのご協力とご支援と感謝しております。今号は昨年10月に開催された交流会、同11月のプチ交流会、同12月の研修会、本年2月の講習会の様子に加え、改めてファミリー・サポート・センターの活動の仕組みと流れをご紹介します。4月末現在の会員数は利用会員597人、協力会員182人、両方会員85人です。

＊ ＊ 会員になるには概要説明講習会を ＊ ＊

毎月第二日曜日と、第四水曜日に赤塚駅福祉ボランティア会館(ミオス)で行っています。登録される保護者の方の写真を2枚お持ち下さい。ご希望の方には託児も準備しています。(託児サービスをご希望の方は、あらかじめご予約下さい)センターでも随時登録を受け付けています。お気軽にご連絡・ご相談ください。



仕組みがよくわかって安心ね! (^)v

＊ ＊ 事前打ち合わせについて ＊ ＊

初めての援助活動をされる方は、必ず事前打ち合わせがあります。協力会員さんの家で行います。余裕を持ってセンターにご相談ください。



もう打ち合わせ終わったの？



はじめての活動で不安でしたが
協力会員さんにお会いして安心しました!!



お外でも
遊ぶんだ～

＊ ＊ 援助活動について ＊ ＊

預かり型や送迎型などの援助活動をしています。その他ご相談ください。

楽しかったよ～!!

ボク、ロボットを作ったんだ～♪

幼稚園のお迎えです。



宿題しちゃってま～す!



交流会 10月4日

「簡単！楽しい！」 「お弁当づくりのヒント」

講師に小田由美子さん（協会員・管理栄養士）をお迎えして、大切な食事のひとつである、お弁当を作るためのレシピを教えてくださいました。内原産のお米と野菜を使って、バランスがよく、なおかつ簡単にできるお弁当を作って楽しくいただきました。



楽しく料理できました。

お弁当 ここが大事！

- ・自分に合った弁当箱を選ぶ
容量 600ml ⇒ 約 600Kcal
- ・中身の割合は
主食 3 : 主菜 2 : 副菜 1



当日のメニューはこれ！

- 主食
ごはん（おにぎり）
- 主菜
（3品より2品をチョイス）
ポークケチャップ（肉料理）
ポークピカタ（肉・卵料理）
ポークロール（肉料理）
- 副菜
（3品より2品をチョイス）
小松菜おかか炒め
野菜の炊き合わせ
なすチーズ焼き

野菜をたくさん食べられてよかった。



パイ生地が意外と簡単にできることを習いました

フキ交流会 11月18日

「簡単！ピザを作ろう！」



パイ生地が意外と簡単にできることを習いました。家でも是非作ってみたいと思います。

好評だったお弁当づくりに続き、交流会第2弾。簡単にできるおやつについて、小田由美子さんに教えてくださいました。子どもにとって、おやつは大切な食事の1つです。時には手作りで簡単に作れるとうれしいですね。今回ピザを作ってみました。とてもおいしくて、簡単にできて驚きでした。



思いがけず沢山の皆さまと交流ができました。

普段なかなか交流できない年齢の方々と、いろいろな話が出来てとても楽しかったです。





子育てサポート現任研修会

12月15・16日



2日間にわたり、茨城県子ども家庭課主催の現任研修会がありました。水戸ファミリー・サポート・センターからは11名の協力会員さんが参加しました。

♪カリキュラム♪

1日目

- 「子育てサポーターとは」
- 「乳児への接し方」
- 「発達の遅れのある子との過ごし方」

2日目

- 「食育について」
- 「子どもの病気と看護」
- 「子どもとのコミュニケーション」



子育てといってもそれぞれの家庭で育て方があると思います。しかし、思いやり・優しさ・忍耐力などの一つ一つが子どもの将来を作り上げていく上で大切だという事を教えられました。「子どもは育てたように育つ！」この言葉はこれからの育児支援にやくだたせていきたいと思いました。

(協力会員 織田 美子)



講習会「子育て相談から見えてくるもの」

2月6日

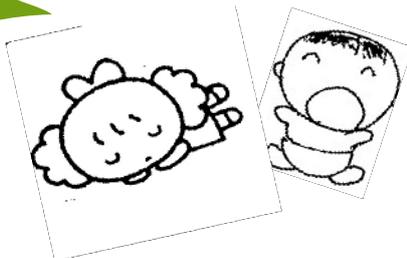


講師：秋田 千代子さん
(わんぱく・みと保健師)

講師の秋田先生は、わんぱく・みとで妊娠・出産・子育てに関する悩みごとの相談をされています。

水戸市の子育て支援、母子保健制度など、「子育て、親育ち、地域育ち」という理念を合言葉に、次世代育成支援のわかりやすいお話をさせていただきました。

育児相談で心かかっていることは「和顔・愛語」を大切に、相談される方の話に誠意をもって傾聴することで、共感することが多いとのこと。そして子育てを通して、自分も親として人間として育てられているという優しいお話を伺いました。



充実した内容で良かった。
色々な事を再認識し、今後の活動に生かしたいと思います。

ほんわかと
アットホームな感じの
講習会でした。

子どもの育て方の事例
を、もっと聞きたかった
かな！？



もう一度確認ね～♪



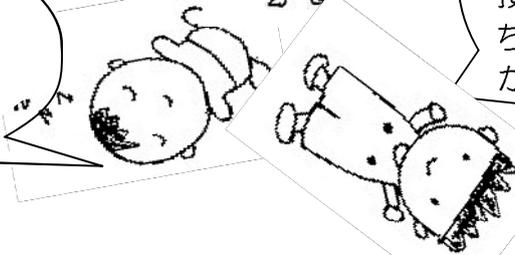
利用会員の私たちは協力会員さんにサポートのOKをしてもらったら、センターに必ず連絡しなくちゃね!

そうよ♪
おかあさん...
事前の連絡をしてるから大丈夫ね。



サポート活動の連絡方法はいろいろ。センターが閉所時でもFAXでもOK! Eメールアドレスもあるから便利だね。パソコンとか携帯電話からなら面倒じゃないし。

ぼくたちが安心して預かってもらうためにちゃんと補償保険の制度があるんだよね。



継続の方も前の月に必ずセンターに連絡してね!

個人情報保護法もできているし、私たちサポート側は、第三者に、サポートの内容など、話さないように気を配る責任があるわね。



★★★ 各種お問い合わせは ★★★

Eメール mito@310-famisupo.or.jp

TEL:029-303-7277 FAX:029-303-7288

* いろいろな相談はお気軽にお電話でてね。

センターからのお知らせ

この度アドバイザーの諸橋恵美子さんが、2009年1月をもって退職いたしました。

2004年6月の創設期から、ファミリー・サポート・センターの事業に関わり、会員の皆さまとともにセンターの運営や援助活動、そして水戸市の子育て支援事業に和と輪を持ってお力をいただきました。今後は地域活動に参加しながら、家族の方々と時間を過ごすとのこと。ありがとうございました。

ファミサポ5周年の交流会を企画します。詳細が決まりましたらお知らせいたします。お楽しみに!

ひとりごと...

㊟ファミサポも5年という月日を重ね、多くの思い出に私の人生を重ねている今日この頃です。難しかったこと、わからなかったこと、悔しいこと、いろいろありました。でも会員さんと打ち合わせでお話しをしたり、交流会や講習会で会員さんや子どもたちに接していると、一人ひとりの個性や目の輝きに出会い、楽しい思い出がたくさん出来ました。そのたびに若いエネルギーをいただきました。元気が湧いてきます。もう少し頑張ってお返ししたいと思っております。



諸橋恵美子さんよりごあいさつ

この度、水戸ファミリー・サポート・センターを退職することになりました。この5年間、事前打ち合わせやチラシ配布などで水戸の街を歩き、水戸の街や風景に楽しい思い出がたくさん出来ました。会員の皆さまや関係機関の方々にお世話になりながら、子育て支援事業に関われたことに深く感謝しております。ありがとうございました。

水戸の街で見かけたときは声をかけてください。